



# 警察庁 一般職技術系

National Police Agency

# 2017



## Contents

地方機関	
機動通信課	4・5
通信施設課	6・7
情報技術解析課	8・9
内部部局	
警察庁情報通信局	10・11
附属機関	
警察情報通信研究センター	12
サイバーセキュリティ対策研究・研修センター	13
附属警察情報通信学校	14・15
様々な活躍の舞台	16・19
若手職員の1日	20・21
若手職員の声	22・23
キャリアパス	24・25
ワークライフバランス	26・27
警察機構図	28・29
Q&A	30
各管区警察局採用窓口	31



# 一般職技術系職員の魅力



## 技術のプロフェッショナル

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナル集団がいます。それが、警察庁の一般職技術系職員です。警察独自の情報通信ネットワーク・情報管理システムの構築や犯罪捜査の技術支援等の業務を担い、国民の安全・安心を守る第一線警察活動に欠かせない存在となっています。

警察庁の地方機関として各都道府県に設置されている情報通信部は、国家公務員である警察庁職員で構成されています。一般職技術系は、それらの地方機関において地元を中心に活躍することはもちろんですが、希望と適性により警察庁内部部局でよりスケールの大きな業務に携わることも可能です。

また、都道府県警察や他省庁への出向などのチャンスもあり、一般職技術系の技術力は多種多様な業務において必要とされ、活躍の場は広がっています。

# 警察庁は「あなた」を

# 必要としています。

後を絶たないサイバー犯罪・サイバー攻撃。  
厳しさを増す国際テロ情勢。

こんな混沌とした時代だからこそ、

国民が警察に寄せる期待はこれまで以上に大きくなっています。

技術的な知識・知見を、国民の安全・安心のため、  
社会秩序の維持のため、

遺憾なく発揮できるフィールドが警察庁にはあります。

理系として培った深い洞察力や論理的思考力、組織を

牽引していく統率力、不正を許さぬ正義感、

そして豊かな人間性を備えた「あなた」が、

警察庁の門をたたくことを期待しています。

警察庁  
情報通信局長



# 機動通信課

Communications Emergency Response Div.

地方機関

警察活動においては、あらゆる事件、事故、災害等に迅速かつ的確に対応するため、指揮、報告、連絡等に用いる情報伝達手段が不可欠であり、無線機等の通信機器や無線中継所の通信施設は「警察の神経系統」として大きな役割を果たしています。

機動通信課では、これらの通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるように、平素から点検、調整、監視といった維持管理業務に当たるとともに、災害や障害等の発生に備え、想定外の事態まで想定して実践

的な訓練を繰り返し行っています。

実際には、情報通信部の職員で構成する機動警察通信隊が直ちに出勤し、現場の状況を撮影した映像の警察本部への伝送や、現場活動を行う警察官との通信の確保を行います。

このほか、平成28年に開催された伊勢志摩サミット等の大規模な警備が行われる際には、必要となる通信の確保を行いました。

中部管区警察局 福井県情報通信部 機動通信課 係長  
平成22年入庁

## —現在の業務内容—

警察独自の電話交換網である電話交換システム、110番通報の受理・手配を行う通信指令システム、全国の警察組織をネットワークで繋げてデータ通信を可能としている基幹IP網システム等の保全業務を担当しています。これらは、警察活動を行ううえで、絶対に途切れさせることがあってはならない、まさに警察情報通信の根幹と言えるシステムです。

## —業務をする上で心がけていること—

システムが停止すると、警察活動に重大な影響を与えます。しかし、どんなに予防保全をしても、機器の障害は発生するものです。そのような時に、どれだけ影響を少なくするか、障害発生時の初動対応が必要となります。そのために、常日頃から障害時の対策について問題意識を持つとともに、有事に備え、常に連絡が取れるように心がけています。

## —現在の業務で最もやりがいを感じたこと—

業務を行って行くうえで、いつも想定していた通りの結果になるとは限りません。そういった事態が発生した時は、大変な思いをすることもありますが、その分やりがいや達成感を感じることが出来ます。また、どんなに大変な業務でも、周りには頼りになる上司、同僚、部下がいますので、一致団結して取り組むことで、どのような業務でも乗り越えていくことが出来ます。

## —皆さんへのメッセージ—

この職場で必要となる技術・知識の多くは、学生時代に得ることは難しいものばかりだと思います。言い換えると、ほとんどの人が同じスタートラインに立って職場教養を受けますので、そういった面に不安を感じる必要はありません。また、業務内容は多種多様ですが、どれも警察活動を支える重要なもので、大変やりがいのある仕事です。私たちの仕事に少しでも興味を持っていただける方がいれば幸いです。一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

北海道警察情報通信部 機動通信課 係員  
平成25年入庁

## —現在の業務内容—

警察庁を中心とする全国の警察本部を結ぶ無線多重通信システムの保守、事件・事故・災害現場等から送られてきた映像を伝送するための各種映像伝送システムとして、衛星通信システム、ヘリコプターテレビシステム等の保守を行っています。

## —業務をする上で心がけていること—

業務を行う上で、小さなミスが警察活動に大きな影響を与えることもあります。そのため、当然のことですが、作業時にはミスが起こることのないよう細心の注意を払うとともに、分からないことはその都度確認し、自分が行う作業の内容をしっかりと把握してから実施するように心がけています。

## —現在の業務で最も印象に残っていること—

保守を担当していたシステムの更新に携わる機会があり、更新時でも通信を途絶させることができないので、緊張感のある作業でしたが、多くの人と協力して新システムへ更新できました。無事に終了した時には、非常にやりがいを感じ、とても印象に残っています。

## —皆さんへのメッセージ—

技術者として、自分の持っている技術力を発揮し、警察活動に貢献することができるので、非常にやりがいがあります。女性が多いとは言えない職場ですが、男女関係なく自分の持つ技術を活かして働ける職場です。

日々多くのことを学びながら、充実した毎日を過ごすことができます。是非、皆さんもこの仕事を選んでみてはいかがでしょうか。



# 信施設課

Communications Facilities Div.

## 地方機関

いつどこで発生するかわからない事件、事故、災害等に的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築され、指揮命令や報告連絡に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を実現する警察通信施設の整備を行っています。整備に当たっては、耐災害性、利便性、コスト等を考え、警察にとって最適な技術を導入することが求められており、先端技術情報の収集や、関係省庁、民間事業者等との連携が欠かせません。

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会では、多数の人が集まる公共交通機関等のいわゆる「ソフト・ターゲット」を狙ったテロが危惧されており、かつてない規模の警備体制が予想されています。このような大規模警備の「神経系統」を整備する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。

四国管区警察局 香川県情報通信部 通信施設課 係長  
平成7年入庁

### ー現在の業務内容ー

警察活動に必要な無線機の無線局免許申請、電波法に基づく無線局検査の対応を行っています。

また、警察本部から警察署、交番、駐在所を結ぶ警察電話や各種通信システムに係る電気通信事業者回線の開設や廃止等の申込みを行っています。

### ー業務をする上で心がけていることー

係長として「リーダーシップ」と「フォローシップ」を発揮して、組織として成果を出すことです。担当係では、リーダーとして業務計画を作成、関係部署と調整等行い業務を進めています。上司、同僚、部下とは双方向のフォローができるように、報告・連絡・相談を心がけています。

また、突発的な業務も入ってくるため、警察活動にとって最優先事項は何かを考え、業務に優先順位をつけて取り組んでいます。

### ー現在の業務で最も印象に残ったこと、うれしかったことー

大規模な通信システム整備では、調達業務、工事監督など各課各係の協力なくしては完遂できません。特に移動通信システムの更新では、通信施設課が中心となり、部内一丸で取り組み完遂できたことが印象に残っています。

また、民間業者、他官庁の方とも仕事をいたします。通信システム整備は、本当に沢山の方々の力が必要です。そこに自分も携わることができ、整備された通信システムを警察官が運用している姿を見るのが何よりうれしいです。

### ー皆さんへのメッセージー

警察情報通信には、様々な業務があります。事件、事故、災害等に対応できるように情報通信基盤を整備し、保守し、24時間体制で運用しています。

厳しい現場、苦しい状況もありますが、個人として、組織としてやり遂げる「面白さ」「楽しさ」があります。

ぜひ、警察組織の一員として一緒に働きましょう。

九州管区警察局 長崎県情報通信部 通信施設課 主任  
平成22年入庁

### ー現在の業務内容ー

通信指令システムをはじめとした警察通信施設の整備を担当しています。

長崎県では、平成29年度に警察本部庁舎の新築移転を控えているところであり、私も担当の1人として、警察本部新庁舎において運用する各種通信施設の整備に向け、CADを使った設計図面の作成や、整備工事の実施に必要な経費の積算などの業務を行っています。

### ー業務をする上で心がけていることー

通信施設課が整備した警察通信施設は、その後何年も運用されることになります。このため、計画段階から、関係者とよく話し合い、運用者である警察官にとってできる限り使い勝手のいいものを整備するよう心がけています。

また、業務を円滑に推進するため、上司や同僚はもちろんのこと、関係部署等との間で適切なコミュニケーションを保ち、問題点の早期発見や良好な人間関係の構築を図るようにしています。

### ー現在の業務で最もやりがいを感じたことー

通信施設課員としてはじめて警察通信施設の整備を担当し、自分が作成した図面通りに整備が完了した時は、達成感とやりがいを感じる事ができました。

今後も引き続き、ユーザである警察官の意見をよく取り入れ、より一層使いやすいものを整備するよう心がけていきます。

### ー皆さんへのメッセージー

通信施設課では、警察通信施設の整備に係る業務がメインになっていますが、情報通信に関する知識のみならず、土木・建築、各種法令に関する知識も必要となります。私も今の業務に就いて間もない頃は、何も分からず戸惑いもありましたが、研修やOJTの機会が多くあり、無理なく段階的にスキルアップすることができました。

まだ分からないことはありますが、経験豊富な先輩方の温かい指導の下、自分自身の成長を感じることができ、やりがいと充実感をもって働いています。



# 報技術解析課

High-Tech Crime Technology Div.

## 地方機関

昨今では、あらゆる犯罪にパソコン、スマートフォン等の電子機器が関与していると言っても過言ではありません。

また、インターネットバンキングに関する不正送金事犯をはじめとするサイバー犯罪が多発しているほか、システムダウンや機密情報流出を狙ったサイバー攻撃が世界的規模で頻発するなど、サイバー空間における脅威は深刻化しています。

情報技術解析課では、事件解決の糸口をつかんだり、

犯罪を立証したりするため、捜索差押現場での捜査員への技術的指導、押収した電子機器の解析などを実施し、都道府県警察が行う犯罪捜査を技術面からサポートしています。

さらに、重要インフラ事業者等との連携、サイバー攻撃発生時における緊急対処活動、悪用された不正プログラムの解析など、被害の未然防止・拡大防止や攻撃の実態解明に向けた幅広い取り組みを実施しています。

九州管区警察局 福岡県情報通信部 情報技術解析課 係長 平成23年入庁

### ー現在の業務内容ー

犯罪捜査の技術的なサポートを行っている当課には、日々、捜査員からスマートフォンやパソコン、SDカード、USBメモリ等、様々な電子機器が持ち込まれます。それらに記録されたデータの解析作業が、現在の主な業務です。また、捜査員からの各種電子機器に関する技術的な質問、相談も毎日多く取り扱っており、いかに分かりやすく回答することが出来るか奮闘中です。

### ー業務をする上で心がけていることー

捜査員から受けた解析要請については、基本的に担当者が一人で作業を行うこととなります。捜査員の求めていることを理解し、常に見落としがない作業を行うよう努めています。自分が選択した手法以上に良い手法がないか判断するため、日々の情報収集は欠かせません。また、一つ一つの解析要請に対する「執着心」も必要になる業務だと思っています。

### ー現在の業務で最も印象に残ったことー

メディア等に大きく取り上げられた殺人事件の捜査に携わったことです。この事件の被疑者は多くの電子機器を保有していたため、長期間携わることになり、その間、捜査員に対する技術的な助言や事件に関わる複数の電子機器の解析作業を行いました。技術的に不可能だと捜査員が諦めていたことを、やり取りの中から気付くことができ、技術的に解決することができた時には、大変な達成感を感じることができました。最終的に被疑者は起訴され、捜査員の方々から直接お礼の言葉や感謝状をいただき、「捜査に貢献できた」という大きな充実感がありました。

### ー皆さんへのメッセージー

一般職技術系が具体的に何をするのか分からず、不安に思うことも多いかもしれません。

しかし、採用後1年間の研修期間が設けられており、十分な準備期間を経てから、実業務に従事することになりますし、研修期間のうち数ヶ月間は全国の同期とともに学ぶ機会も設けられています。現在の業務に関しては日々変化していく部分が特に多く、頭を悩ませることもありますが、共に学んだ同期とは今でも頻りに連絡を取り合い、情報交換を行う等、助け合いながら仕事を行える良い環境にあります。

北海道警察情報通信部 函館方面情報通信部 情報技術解析課 係員 平成25年入庁

### ー現在の業務内容ー

「犯罪の立証のため、コンピュータなどの電子機器に残る記録を収集・分析し、その法的な証拠性を明らかにする技術や手段」のことをデジタルフォレンジックといい、それが私の仕事です。当課では犯罪捜査における技術的なサポートを担っており、押収されたスマートフォンやパーソナルコンピュータなどから捜査上必要となる電磁的記録を専門知識・技術を駆使して解析・可視化しています。国民の安全と安心を守るという誇りを持って業務に取り組んでいます。

### ー業務をする上で心がけていることー

解析技術は日進月歩であり、毎日新しい技術が生まれています。昨日できなかったことが今日はできるようになったり、またその逆もあります。そのため、情報技術解析課員は常に最新技術の動向を把握しておく必要があります。特に対象とする解析物は多種多様で、スマートフォンやパーソナルコンピュータはもちろんのこと、今後はIoTにも対応していかななくてはなりません。どのようなモノが犯罪で使われたとしても柔軟に対応できるよう、未来のために投資する時間を作るよう心がけています。

### ー現在の業務で最もやりがいを感じたことー

捜査支援で深夜の捜索差押現場に同行したことです。初めて、かつ、長期間の捜査だったこともあり、緊張感に満ちあふれた現場でした。捜索差押終了後、今まで強面だった捜査員から捜査に役立ったと声をかけてもらった時は、とてもやりがいを感じました。時として緊張を強いられることは警察職員である以上、避けられないことなのかもしれません。しかし、その緊張感を乗り越えた時に、やりがいや喜びが生まれると思います。

### ー皆さんへのメッセージー

「自分の専門分野と異なるし・・・」、「興味があるけど難しそう」と感じている方もいると思いますが、この組織は、「やる気」と「情熱」さえあれば十分に活躍できる職場です。たとえ困難に直面したとしても、支えてくれる上司、助けてくれる仲間が“全国”にいます。

これからは、あなたが“守られる側”から“守る側”になってみませんか。



警察庁  
情報通信局  
情報通信企画課 通信運用室 係長  
平成14年入庁

## ー現在の業務内容ー

警察官が使用する無線機等の警察情報通信システムの機能・性能要件等を定義する調達仕様書の審査に関する業務や、災害、事故又は重大事件等の発生時に、警察本部等へ現場映像をリアルタイムに伝送等する機動警察通信業務に従事している職員の定員の増員に関する業務に携わっています。

## ー業務をする上で心がけていることー

現在の担当業務には、自分の専門分野以外の技術的な知識も必要であり、警察情報通信システムに関係する幅広い分野の最新の技術動向を把握するため、各種技術展示会に積極的に出席するなどして自己研鑽に努めています。

## ー現在の業務で最も大変だったことー

情報システムに関する膨大な量の調達仕様書の内容を確認することになった当初は、ネットワーク技術に関する知識が乏しくて苦労もありました。  
今では、自分のスキルアップのためにも、専門分野に拘ることなく、周りの同僚や上司に助けていただきながら幅広い分野の情報通信技術の習得に努めています。

## ー皆さんへのメッセージー

ー一般職技術系は大規模災害時においても、警察官が警察活動を行ううえで必要不可欠な警察情報を途絶することなく伝達できる情報通信基盤を整備、運用し、国民の安全・安心の確保に貢献しています。

情報通信基盤の整備というと、情報工学系が専門でないと活躍の場がないと思うかもしれませんが、それは全く違います。警察の情報通信基盤は、無線、有線、ネットワーク技術が高度に融合して構築されていることに加え、東日本大震災級の災害への耐災害性も必要であり、電気、電子、情報工学系に加え、土木、建築、災害対策等の様々な分野の技術者が必要です。

学生時代に培ってきた知識や経験を、この国の治安維持のために遺憾なく発揮したい方は、ぜひ、警察庁の一般職技術系を目指してください。

警察庁  
情報通信局  
情報管理課 係員  
平成23年入庁

## ー現在の業務内容ー

第一線の現場で活動する警察官の業務を支援するために、24時間365日絶え間なく稼働することが求められる情報システムの整備を担当しています。

## ー業務をする上で心がけていることー

警察官にとって情報システムは事件捜査に欠かすことができないものになっています。より悪質・巧妙化する犯罪に対応することができる情報システムを整備するために、最新技術の動向の把握に努めています。

また、情報システムを整備するときは、関係部署の意見・要望と、情報セキュリティを踏まえた制約とを調整して、第一線の警察官にとって使いやすいものが整備できるように心がけています。

## ー現在の業務で最も苦労したことー

あるシステムで動かしているプログラムの修正をしたことがありました。当時、プログラミングの経験がなかったので、プログラムを見てどのような処理をしているのかを理解するのに非常に苦労しました。

しかし、プログラムやシステムを理解するための研修体制が整っており、職場の経験豊富な先輩や上司からも多くの助言をいただき、理解することができました。人材を育成する環境が整っていますので、初めて担当する業務でも、不安はすくなくなくなると思います。

## ー皆さんへのメッセージー

自分の知識や技術を人の役に立てたいと考えているのであれば、是非、一般職技術系を志すことをお勧めします。

警察には様々な部署で様々な技術を必要としており、多くの職員が様々な立場で活躍しています。皆さんの知識や技術を活かすことができる場所は必ずあります。

皆さんがこれまでに培った知識と技術を国民の安全・安心を守る仕事に活かしてみませんか。

警察庁  
情報通信局  
通信施設課 係長  
平成6年入庁

## ー現在の業務内容ー

警察通信施設の維持、新増設、改修を担当する通信施設課に所属し、種々の警察活動に即応した情報を総合活用するため、警察庁のコンピュータを中心に全国の警察をネットワークシステムで結び、犯罪情報など第一線警察官の捜査活動を支援する端末装置の整備・維持管理を担当しています。

## ー業務をする上で心がけていることー

機密情報を取り扱う装置であることから、国民の安全・安心を確保し、警察組織に対する信用失墜が起きないように警察情報セキュリティポリシーに基づくとともに、操作性を考慮した端末装置の機器仕様を制定し、一元的に維持管理に資する情報を全国的に展開して、円滑な警察活動を支援できるよう心がけています。

## ー現在の業務で最も達成感を感じたことー

捜査活動を支援する端末装置を整備するうえでは、発展する物作り技術や情報通信技術、変化する捜査手法を把握し、堅牢性、安全性、利便性に優れた仕様を意識しているため、組織内関係者との意思疎通や技術を有する業者からの情報収集など、幅広い知識の習得に労力と時間を必要としますが、様々な事を総合的に調整して運用を開始するときには大きな達成感を感じます。

## ー皆さんへのメッセージー

警察情報通信の業務は、インターネット等の高度情報通信ネットワーク及びコンピュータ技術、無線通信技術、電話等有線通信技術、土木及び建築に関する技術など、多岐にわたる知識・技能を必要としますが、研修制度が充実しており、職場におけるOJTが計画的、継続的、意識的に実施されており、自身の可能性が広がります。あなたの技術を「日本の治安、国民の安全・安心を守る」ことに活かしてみませんか。

警察庁  
情報通信局  
情報技術解析課 主任  
平成23年入庁

## ー現在の業務内容ー

警察庁情報技術解析課のサイバーフォースセンターで勤務しています。サイバーフォースセンターでは、インターネットとの接続点に設置したセンサーに対するアクセス情報等を24時間体制で観測・分析し、その分析結果を警察の関係部署や重要インフラ事業者等に提供しています。また、観測したアクセス情報の分析結果やぜい弱性情報はセキュリティポータルサイト「@police」に掲載し、注意喚起しています。

## ー業務をする上で心がけていることー

インターネットとの接続点に設置したセンサーに対して、不審なアクセスを検知した際には、関連する情報を収集し、サイバー攻撃の予兆把握や迅速なインシデント対応に努めています。また、ぜい弱性情報や攻撃手法は日々公開されており、常に最新の情報を入手するように心がけています。インシデントは昼夜を問わず発生するため、緊張感をもって仕事に取り組んでいます。

## ー現在の業務で最もやりがいを感じたことー

サイバーフォースセンターで認知、対応したインシデントや、観測したアクセス情報をもとに注意喚起したことが、新聞やインターネットニュースでたびたび取り上げられたことで、自分の業務の重要性や社会的関心の大きさを実感し、サイバー空間の治安維持に貢献する現在の業務に大きなやりがいを感じています。

## ー皆さんへのメッセージー

サイバーフォースセンターの仕事は、サイバー攻撃を未然に防ぎ、実態を把握することで、サイバー空間の治安維持に貢献し、国民の安全・安心につながる、とてもやりがいのある仕事です。専門的な知識や技術がない人でも、業務や研修を通じて技術者として成長できますので、共に力を尽くしていきましょう。



警察の情報通信に関する研究を行う機関として、警察大学校に警察情報通信研究センターが設置されています。同センターでは、現場のニーズ及び技術動向を踏まえつつ、警察通信、警察情報管理、その他警察活動に資する情報通信技術の調査・研究を行っています。

警察情報通信研究センター  
応用第二研究室 主任助手  
平成 17 年入庁

## ー現在の業務内容ー

警察内外にある様々な情報の効果的な活用方法について研究を行っています。

複雑化する犯罪情勢に対応していく一つの方策として、様々なデータを広く活用していくことが求められており、研究成果が、これからの警察活動を支えていくものになるよう期待しながら日々業務に取り組んでいます。

技術のみならず、データを活用する捜査現場のことも考えながら研究を進めなければならない幅広い大変な仕事ですが、やりがいのある仕事です。

## ー業務をする上で心がけていることー

現在の業務に直結している技術に限らず、様々な分野に興味を持ち、そこで使われている技術について知識を得ていくことを心がけています。これまで、様々な業務に携わってきましたが、別の業務で得た知識のおかげでよい結果が残せたことも少なくありません。

よりよい結果を残すためには、深い知識も重要であることは言うまでもありませんが、幅広い知識も重要であると考えています。

## ー現在の業務で最も達成感を感じたことー

研究という業務の性質上、目標に対して明確な道筋は示されていません。自分自身でやるべきことを考え、調査し、そして試行錯誤を繰り返していく日常であり、期待する結果がすぐに出る業務ではありません。

そのような業務であるがゆえに、目標が達成できた時の達成感は大きなものになります。特に、自分の専門外の分野について、一から学び、試行錯誤を繰り返し、そして結果が出せた時の達成感は非常に大きなものでした。

## ー皆さんへのメッセージー

警察は国民の安全と安心を守るための組織であり、私たちは情報通信技術を使ってその実現を目指していく職場です。

職場に必要な技術は多岐に渡り、あなたが持っている技術を活かすチャンスが必ずある職場です。

国民のために尽くし、社会へ貢献したいと思っているあなた、私たちと一緒に働いてみませんか。

## 警察情報通信 研究センター

NTT セキュアプラットフォーム  
フォーム研究所 派遣  
平成 22 年採用

## ー現在の業務内容ー

現在、警察情報通信研究センターから派遣され、NTT セキュアプラットフォーム研究所において、スマートフォンのセキュリティに関する研究を行っています。近年、スマートフォンに代表される電子機器が広く普及する一方、悪意あるアプリによる情報流出等が問題となっており、情報セキュリティの確保が安全・安心な社会のために不可欠となっています。

## ー業務をする上で心がけていることー

このような分野に関しては、警察情報通信研究センターでも積極的に研究を行うとともに、産学官の連携が推進されています。その一環として、他の研究機関への職員の派遣等が行われています。このような背景がありますので、研究に際しては、自身の活動が今後の産学官の連携に寄与することを意識し、業務に取り組むよう心掛けています。

## ー現在の業務で最もやりがいを感じたことー

研究所の勤務では、国内外の最新の研究に触れ、充実した設備の下で研究に従事することができ、とてもやりがいを感じています。また、情報セキュリティ分野の専門家と共に研究をすることは、もちろん大変なこともあります。自身や組織にとって良い刺激となり、知識や技術力の向上を実感しています。

## ー皆さんへのメッセージー

警察庁には様々な業務があり、研究制度も充実しています。研究分野についても、情報セキュリティだけでなく無線、暗号、デジタルフォレンジックなど多岐にわたり、様々な専門知識を活かすことが出来ると思います。

あなたの知識・技術を警察情報通信に活用してみませんか？



サイバーセキュリティ対策研究・研修センターは、犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究を行う解析研究室と、警察職員に対する高度な情報技術を利用する犯罪の取締りに関する専門的な知識及び技術に関する研修を行う捜査研修室の2室で構成されています。この2室が相互に連携しながら、増大するサイバー空間の脅威に対する警察全体の総合的な対処能力向上のため、各種電子機器等の解析に関する研究や、サイバー犯罪等に悪用され得る最先端の情報通信技術に関する研究等を行うとともに、サイバー空間の最新の情勢を取り入れた、実案を想定した高度かつ実践的な研修を行っています。

サイバーセキュリティ対策研究・研修センター 解析研究室 助教授 平成 14 年入庁

## ー現在の業務内容ー

犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究に従事しています。具体的には、各種ナビゲーション機器から情報を抽出する手法の研究を行っています。カーナビに記録された情報は、犯罪の立証に役立つ場合があります。各種ナビゲーション機器の解析手法を確立していくこと、新たな解析対象が事件等で認知されるに先んじて研究活動を展開していくことが私たちの使命であり、チーム一丸となって取り組んでいます。

## ー業務をする上で心がけていることー

第一線で働く警察官や技術系職員の声を大切にしています。年に数回、研究発表会などの大イベントがあり、全国の警察職員を対象に研究結果を報告する機会があります。また、当センターが行っている研修において、警察大学校に入学している全国の警察職員に講義を行うこともあります。そこで得られる貴重な意見や要望に耳を傾け、意義のある研究を行いたいと考えています。

## ー現在の業務で最もやりがいを感じたことー

ナビゲーション機器の鑑定を行った時です。鑑定は、自分の技術力を頼りに全神経を集中させ迅速・正確・丁寧に行わなくてはなりません。それをやり遂げた時の達成感、捜査員から頂いた感謝の言葉は私の励みになっています。研究を行う中で、技術障壁の高さに圧倒されることもありますが、周りには新しい技術に果敢に挑む仲間がいて、研究に専念できる環境があります。いざという時に最大限の力を発揮できるように自己研鑽に努めていきたいです。

## ー皆さんへのメッセージー

人の役に立ちたいという気持ちが大切です。業務を遂行する中で、技術力を磨き、心身ともに鍛えられ一般職技術系としての資質が養われていきます。

また、仕事と育児の両立を応援してくれる環境もあります。子育てをしながら活躍している女性職員も多く、限られた時間の中でやるべき仕事を全力でこなす姿は私自身の道標となっています。犯罪捜査の一翼を担っている責任感、警察活動に貢献できる喜び・・・とてもやりがいのある仕事です。一緒に働きましょう！



### ○情報管理教養部

警察の情報管理システム等に関する業務に従事している職員や従事することが見込まれる職員を対象に、警察情報管理業務の運営、情報セキュリティ、情報システムの開発等に関する研修を行っています。

基礎課程では、業務で必要となる各種サーバやネットワークの構築に係る技術、データベースやプログラミング等についての基礎的な研修を幅広く実施しており、情報管理部門の業務に必要な知識・技能を習得できます。

また、応用課程として、ネットワーク障害対応訓練、データベース設計及び Web アプリケーション開発実習などに特化した研修があり、より専門的な知識・技能を習得できます。

### ○通信技術教養部

基幹 IP ネットワーク、デジタル無線及び多重無線等の警察通信システムを維持管理していく職員の育成、支援を目的とし、採用時教養のほか各種研修を行っています。

基礎課程では、主に採用後3年目の職員を対象に、基幹通信、データ通信及び無線通信の担当業務に応じた専門分野についての基礎的な研修を実施しており、通信システムの維持管理に必要な知識・技能を習得できます。

また、システムに特化した課程もあり、配置換え等により対象システムについて十分な経験のない職員、技術力の更なる向上を目指す職員や、個別システムに関する知識の強化が必要な職員などを対象として研修を行っています。

### ○応用技術教養部

機動警察通信隊員をはじめとする警察情報通信職員を対象に、警衛警備や突発重要事案等に対処するために必要となる通信技術等に関する研修を行っています。

課程では、あらゆる現場を想定した通信手段の確保、ビデオカメラや監視カメラを用いた映像撮影技術、衛星通信回線や自営電話網を活用した画像情報の無線伝送技術や特殊無線機の運用技術についての工学理論及び実習を行っています。また、信号機の制御にかかる交通管制、通信施設整備工事を行う際に必要な仕様書作成、施工監理等に関する研修も行っていきます。

### ○情報技術解析教養部

情報技術解析業務に従事している職員を対象に、サイバー犯罪やサイバー攻撃事案に対処するために必要となる解析技術等に関する研修を行っています。

基礎課程では、捜査手続き、電磁的記録・ログの解析技術、ネットワーク関連技術等に関する研修を実施しており、実習を多く取り入れ実践的な内容となっており、業務を主体的に行うために必要な知識や技能を習得できます。

また、応用課程では、より高度で専門的な知識や技能の習得も可能です。

## 通信職員養成科（技術初任）

採用されると間もなく、警察情報通信学校に入校し、全国各地で採用になった同期と共に約3ヶ月間、警察職員として仕事をしていくうえで必要となる知識や技能について研修を受けます。

入校中は寮生活になりますので、長期間の団体生活が心配な方もいるかもしれませんが、全て個室なのでプライバシーの心配は無用です。また、校内には食堂や大浴場のほか、コンビニエンスストアや集会場もありますので、快適に過ごすことができます。

授業は1日5時限（1時限は80分）で、経験豊富な教官により行われます。情報通信に関する知識が無い人でも習得できるように、座学のほか、業務で実際に使用する機器を用いた実習を多く取り入れて丁寧に行いますので、安心して学ぶことができます。

全国の同期と共に生活し、学習するこの3ヶ月間は、お互いの絆を育む、とても貴重なものとなっています。

### 警察情報通信学校 通信技術教養部 主任助手 平成23年入庁

#### ー現在の業務内容ー

私が所属する通信技術教養部では、警察業務に欠かせない無線など通信に関する知識・技術を身に付けてもらうための研修を実施しています。

その中で私が担当するのは、ネットワーク技術です。複雑多様化する事件・事故に連携して対処できるよう全国警察を結ぶネットワークはとても重要なものです。そのネットワークが途切れることがないよう維持管理するために必要となる技術を教えています。

#### ー業務をする上で心がけていることー

情報通信技術分野の発展はすさまじく、学生に教える立場として日々勉強しています。また、教官として学生に教える時に、自ら考えて行動できる職員になって欲しいという思いから、一方的に教えるのではなく、まずは一度自分で考えてもらうようにしています。

#### ー現在の業務で最も良かったことー

社会人になりたてで、右も左も分からなかったような学生が、卒業する頃にはたくましい顔になっていたり、卒業した学生がそれぞれの職場に戻ってから活躍しているとの話を聞くと、自分自身のことのように嬉しくなります。

#### ー皆さんへのメッセージー

このパンフレットを読んでも、一般職技術系の仕事をうまくイメージ出来なかったり、無線機を扱ったことがないなど、色々不安はあると思います。しかし、採用時に約3ヶ月間の学校教養と、その後の職場教養で丁寧に研修を行います。ですから、安心して一般職技術系の扉を開いてみてください。そこには、国民の安全・安心な生活を守るという、とてもやりがいのある仕事があります。警察情報通信学校で、皆さんの入校を楽しみにお待ちしております。



# 都 道 府 県 警 察 で の 活 躍

北海道警察本部 交通部 交通規制課 係長  
平成9年入庁

## －現在の業務内容－

交通管制システムの整備、運用、保守に関する業務に携わっています。具体的には、交差点や道路に設置している信号制御機や車両感知器等の更新及び設置の工事を担当しています。

近年では、情報通信技術の進歩に伴い交通信号制御の技術も進化しており、幅広い技術知識が必要となる業務です。

## －業務をする上で心がけていること－

信号機を整備するには、人と車の安全を確保し、かつ交通量に応じた適切なタイミングで動作させ、車の流れをスムーズにする必要があります。赤、青、黄色の単純な制御に見えますが、都市部では安全と円滑な交通を両立させるために複雑な信号制御を行っているため、他の交差点との関係性を調べたり、秒数等が最良の設定となるように日々勉強し、知識の向上に努めています。

## －現在の業務で最もうれしかったこと－

交通規制課の業務では、交通信号機に関する要望について、市民の方々と直接やり取りすることがあります。信号機に関する動作や交通管制システムの内容を市民の方々に対して説明し理解してもらった時や、要望に応じてより良い動作に改善できた時などは、社会に貢献していると実感でき、非常にやりがいを感じました。

## －皆さんへのメッセージ－

情報通信部から都道府県警察への出向先は交通規制課だけでなく、情報管理課、サイバー犯罪対策課、通信指令課、捜査第一課などがあり、警察官とともに警察活動の第一線で業務を遂行する充実感を得ながら自分をさらにスキルアップさせることができます。

警察学校等での研修も充実しているので、初めての業務でも自分のやる気を存分に発揮できる環境が整っています。ぜひ、一般職技術系の採用試験を受けてみてください。

警視庁 総務部 情報管理課 主任  
平成9年入庁

## －現在の業務内容－

警視庁のインターネットシステムの構築・保守運用業務を行っています。

具体的には、ネットワークの構築及び保守運用担当のチーフとして、ネットワークに関わる全体のスケジュール管理、構築仕様の作成及び運用管理の仕事を行っています。

## －業務をする上で心がけていること－

今まで経験したことのない組織での仕事になりますので、コミュニケーションを大事にしています。自分から積極的にコミュニケーションをとり、まずは自分の顔と名前を覚えてもらい、それから仕事でも気軽に相談できるような信頼関係を築いていけるようにしています。

## －現在の業務で最もうれしかったこと－

今まで経験してきた技術や知識が、仕事で大いに役に立ち、そしてそれが形になった時に最高の喜びを感じました。具体的には、自分の設計したネットワーク機器が設置され、電源が入り、そのネットワーク機器を通じてユーザが異常なく通信を始めた時、心から喜びを感じることができました。

## －皆さんへのメッセージ－

一般職技術系は、表舞台に立つのではなく縁の下の力持ち的な存在かもしれませんが、今の世の中、IT技術無しには成り立ちません。これからの社会や警察組織にとっても必要とされる一般職技術系になって、国や国民のために一緒に働きましょう。

富山県警察本部 生活安全部 生活環境課  
サイバー犯罪対策室 係長  
平成19年入庁

## －現在の業務内容－

高度な情報技術を利用した犯罪、例えば、コンピュータウイルスを悪用した犯罪や、インターネットバンキング不正送金事犯などの捜査を担当しています。情報技術の進歩は目覚ましく、分からないこともありますが、以前まで所属していた情報技術解析課で得た知識や技能をフル活用して今の業務に従事しています。

## －業務をする上で心がけていること－

情報技術の分野は専門的な言葉が多く、そのまま使用しても相手に伝わらないこともあります。警察官に対しては、極力、専門用語の使用を避け、分かりやすい言葉で説明することを心がけています。

## －現在の業務で最も大変だったこと－

ある事件に着手した時、限られた期間で書類を作成して送致しなければならず、慣れない環境もあり、上司の指示に素早く対応できなかったり、書類の作成に時間がかかったりと緊張感のある大変な日々を過ごしました。しかし、大変だった分、大きな達成感を感じることができました。

## －皆さんへのメッセージ－

採用されてからの研修制度が充実していますので、大学の専攻分野が異なるため不安に思う人もいますが、研修を受けることによって、十分な知識を身に付けることができます。その研修で得た知識や技能を、私のように県警察に警察官として出向して活かす機会もあります。様々な経験ができる情報通信部で活躍してみませんか。

大阪府警察本部 刑事部 捜査第一課 主任  
平成24年入庁

## －現在の業務内容－

身代金目的誘拐・略取、立てこもりや人身安全関連事案等に関する捜査に従事しています。特に中心となって行っている業務は、現場と捜査本部間での情報通信網の確立や装備資機材の開発改善、情報通信部等の各関係部署との連絡調整です。

## －業務をする上で心がけていること－

現場捜査員が求めている情報通信技術をいち早く察知し、早急に解決策を講ずることで、係全体の円滑な業務遂行の一翼を担うよう心がけています。そのために、常日頃から周りの状況を把握できるようにアンテナを張って、現場捜査員や各関係部署と情報共有や交換を行うことを心がけています。

## －現在の業務で最も大変だと思うこと－

事件捜査を直接行うため、常に被害者の生命、身体及び財産を身近に感じ、失敗は許されないという緊張感を持って仕事をしています。特に社会的反響の大きい誘拐事件や立てこもり事件は長時間に渡って捜査をする必要があるため、体力と気力を保てるように努めています。

## －皆さんへのメッセージ－

都道府県警察から情報通信部を見ることで、現場捜査員がいかに我々技術系職員を頼りにしているかを感じることができました。一般職技術系は、現場捜査員からの技術的なニーズに応えることができるのは自分達だけだという誇りと責任感を持って仕事をすることができます。現時点で技術的な素養に自信が無くても全く問題ありません。情報通信の知識と技術で事件捜査に貢献してみたいという方はぜひ一般職技術系を目指してください。

# 他省庁出向者

Other second-handed employees

在香港  
日本国総領事館 領事  
平成10年入庁



## —現在の業務内容—

外務省へ出向し、在外公館の一つである在香港日本国総領事館で勤務しています。

私はその中の広報文化部に所属し、日本留学のPR、青少年交流、日本文化に係る業務を担当しています。例えば、今年初めて香港で開催された行事である「日本秋祭 in 香港」に関する業務、「日本留学フェア」を始めとする留学広報の実施等を行っています。

## —業務をする上で心がけていること—

ここでは日本人職員以外に、現地採用のスタッフや協力団体の香港人と業務を進める必要があります。日本人同士では共通認識を持つことは比較的容易ですが、文化背景の違う彼らには丁寧な説明、かつ事後の確実なフォローが必要になります。また、彼らとのやりとりを通じ逆に効率的な仕事の進め方について気付かされることもあります。日本の常識に縛られず、非効率な仕事にしないよう心がけています。

## —現在の業務で最も良かったこと—

在外公館が担う業務は多岐に渡り、言葉・文化が異なる海外での勤務は苦勞もありますが、新しい体験も多く、海外から日本を客観的に見ることができるよい機会だと思います。文化行事等で展示物に目を輝かせている若者を見たり、参加者と直接話したりすると、香港の魅力はもとより、日本の魅力を改めて発見することができました。

## —皆さんへのメッセージ—

私はこれまで主に犯罪取締りに係る情報技術解析業務の世界で長く勤務してきましたが、一般職技術系の活躍の場は年々広がってきていると思います。事実、現在のように海外で国際交流に関する業務に就くことは入庁当初は全く想像していませんでした。

一つの観念にとらわれることなく、新しい仕事に果敢にチャレンジできる警察庁の門をたたいてください。一緒に仕事をしましょう。

預金保険機構  
平成4年入庁



## —現在の業務内容—

預金保険機構は、金融機関が預金保険料を預金保険機構に支払い、万が一、金融機関が破たんした場合に預金保険機構が一定額の保険金を支払うことにより預金者を保護する制度の運用に関する業務を担当しています。また、近年では金融機関と反社会勢力との関係遮断に資するため、金融機関が保有する反社会的勢力等に係る債権の買取業務も行っています。

現在、私は金融機関からの照会に応じて反社会的勢力に係る情報を提供するとともに当該情報を収集・保管するための仕組みを構築する業務に携わっており、このために必要なシステムの開発に従事しています。

## —業務をする上で心がけていること—

現在、私が携わっているシステム開発案件については、関係省庁や金融機関との連携を図り進めていくことが必要とされています。そのため、エンドユーザーである金融機関からの要望等を踏まえつつ、警察庁との調整を行い、システム開発に反映させるため、警察庁とのパイプ役となり、開発事業者との調整を順調に進めるために日頃から課題の早期発見と適切な課題対策の実行を心がけています。

## —現在の業務で最も良かったこと—

私の所属する業務システム課は、金融機関のシステム構築経験者のほか、システムベンダー出身者、金融機関の業務経験者、官公庁からの出向者等、様々な分野の知見を有した職員で形成された組織であることから、課題等が発生した場合には、幅広い視点で検討を行い、短期間で最善な対処策を導き出し課題解決を実現しています。この経験から、日頃より業務の問題点を把握し、その対処策を検討するための技術力の向上が重要であることを今まで以上に強く意識するようになり、預金保険機構に出向し大変良い経験をしていると実感しています。

## —皆さんへのメッセージ—

私たち一般職技術系は、日頃から最新の技術動向に目を向け、その技術を取得し、技術力で第一線の警察業務を支えることにより、国の治安維持を担う立場であることから、あらゆる分野で活躍することが可能な職場であると実感しています。

自分の技術力を最大限発揮できる仕事にチャレンジし、国の治安を守りたいと考えている人は、警察庁でそれを実現させて欲しいと思っています。皆さんと共に仕事ができる日を持っています。

# 留学・海外研究

Study abroad / overseas experience

海外研究・アメリカ  
警察庁情報通信局  
情報技術解析課 主任  
平成19年入庁



## —現在の業務内容—

米国のカーネギーメロン大学において、サイバーセキュリティ及びデジタルフォレンジックに関する研究を行っています。具体的には、秘匿ネットワークのセキュリティに関する技術及びストレージメモリの耐久性に関する技術に関して研究を進めています。

## —業務をする上で心がけていること—

サイバーセキュリティや電子機器に関する技術は目まぐるしく変化しています。最新の動向についていけるよう、関連する研究分野におけるニュースや論文等のチェックを欠かさないう心掛けています。

## —現在の業務で最も嬉しかったこと—

世界各国の法執行機関対抗で行われた電子機器解析技術チャレンジに参加する機会があり、私たちのチームが上位に輝いたことがあります。結果も素直に嬉しかったですが、そこにたどり着くまでチームで協力できたこと、さらに海外法執行機関にも日本警察の持つ高い技術が認められたことがとても嬉しかったです。

## —皆さんへのメッセージ—

犯罪捜査への技術支援を担う者として、技術者としての知識を生かしながら、常に新たなことに挑戦することができる職場です。また、多岐に渡る分野における知識が必要とされるため、学ぶことは尽きません。映画やテレビドラマに出てくるような華やかさはありませんが、技術者として地道な努力を続けていける職場です。

海外留学・英国  
警察庁情報通信局  
情報技術解析課 専門職  
平成11年入庁



## —現在の業務内容—

私が所属する係は、最先端の情報通信技術を調査し、警察活動に有効な技術や仕組みの導入を進めています。さらに、デジタル・フォレンジックや産業用制御システムに関する技術論文の執筆や学会発表等も行っています。

昨今、情報通信技術は急速に発展しており、海外にも有益な情報が多く存在します。特に、海外の大学院ではデジタル・フォレンジックやコンピュータセキュリティに関する講義が比較的多く行われています。最先端の情報通信技術の有効性を調査するうえで、学術的な視点は非常に重要であり、私は今、英国キングスカレッジロンドンの大学院へ留学しています。

## —業務で印象に残っていること、心がけていること—

大学院では、新たな技術や仕組みについて講義や議論を通じて習得した知見に基づき、警察活動への技術の活用という視点でより深く調査することを心がけるだけでなく、周囲の人に分かりやすく説明する方法を模索しています。

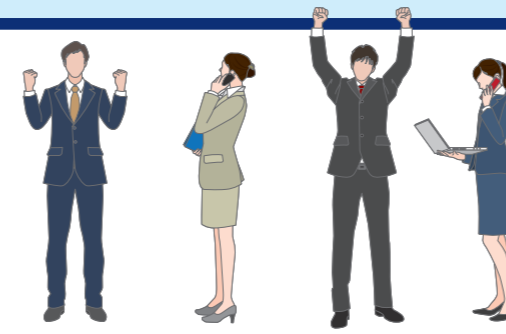
これには、私の今までの経験が影響しています。現在は、先進的な情報通信技術の調査を主な業務にしていますが、採用後数年は県情報通信部で警察本部や警察署に設置された電子交換機の整備・運用等、警察情報通信基盤の維持を行っていました。配属当初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、当時の上司が目の前で紙に絵を描き、警察情報通信機器のネットワーク構成や動作原理について丁寧に教えてくれたことで、私の不安は払拭され、日々の業務に邁進することができました。この上司のレクチャーは今でも鮮明に覚えています。その後も、その時々上司が、業務の全体像や進め方を分かりやすく指導してくれました。

このような経験から、自らの技術を磨くことだけでなく、先進的かつ複雑な技術であっても他人に分かりやすく説明する方法を身に付け、高度な技術を有する職員の育成に資する技能の習得を心がけています。

## —皆さんへのメッセージ—

一般職技術系は、警察活動を技術面で支えることを業務としており、正面から国民の方を向いて業務を行うため、業務の方向性は明確です。また、技術の向上を図る研修体系も確立しています。ぜひ、警察庁で最新の技術的知見を身に付け、国民を守るために最前線で技術力を発揮しましょう。

# 若手職員の1日



## A day of young staff

中部管区警察局 石川県情報通信部 機動通信課  
平成26年入庁

### 【職務内容】

機動通信課で保守業務を担当しています。  
私たちが保守しているシステムは、警察業務に多大な影響を与えるため、絶対に停止させてはいけません。  
システムの保守業務は大変なこともあります、とてもやりがいがある仕事だと日々感じています。

8:15	登庁	少し早めに出勤します。作業着に着替え、今日1日の業務予定などを確認します。	12:00	昼休み	注文しておいたお弁当を自席で食べることが多いです。体力を回復させて、午後も引き続き頑張るぞ！
9:00	始業	石川県情報通信部の始業時刻は9:00。今日も1日頑張るぞ！	13:00	警察署からの障害発生連絡	警察署から、通信機器について障害が発生していると電話がかかってきました。まずは状況を確認し、警察署に向かいます。警察署で作業を実施し、復旧を確認。
9:15	毎日点検	保守を担当するシステムについて異常の有無を毎日確認します。今日も異常なし！	17:00	作業報告書作成	帰庁後、障害復旧の作業記録を作成します。記録は課内で情報共有します。これが、後日、他の警察署で同様の障害が発生した場合の参考情報にもなります。
10:00	システム更新作業	現行のシステムシステムの再確認や新システムの配線システムを検討します。それに伴って、ネットワーク機器の設定を行います。	17:45	終業・退庁	退庁時間はその日の状況によって異なりますが、作業が順調に終わった今日は定時退庁します。1日おつかれさまでした！

中部管区警察局 富山県情報通信部 情報技術解析課  
平成23年入庁

### 【職務内容】

情報技術解析課でパソコンやスマートフォンなどの電磁的記録の解析業務を行っています。  
解析業務は、犯罪捜査において重大な証拠の発見につながる場合もある非常に重要な仕事です。日々進歩していく技術に対応していくことは大変ではありますが、とてもやりがいのある仕事であると感じています。

8:10	登庁	13:00	解析要請を受領
8:30	始業	13:45	解析作業
9:00	解析作業開始	17:00	解析作業終了
10:30	電話相談	17:30	退庁
12:00	昼休み		

8:10 登庁

8:30 始業  
富山県情報通信部の始業時刻は8:30。  
1日のスケジュールを確認して業務スタート。

9:00 解析作業開始  
事前に依頼を受けていた解析作業にとりかかります。証拠品を扱うので、作業は慎重に。

10:30 電話相談  
警察署からコンピュータに関する技術的な相談を受けます。専門家として、的確なアドバイスができるよう心がけています。

12:00 昼休み  
12:00～13:00は昼の休憩時間。今日のお昼ご飯はお弁当です。お腹を満たして午後の業務に備えます。

13:00 解析要請を受領  
警察署から、解析対象となる証拠品が持ち込まれました。警察署員と解析内容について入念に打ち合わせます。

13:45 解析作業  
午前中に取りかかった解析作業を引き続き進めます。解析作業は長時間かかることもあります。

17:00 解析作業終了  
今日はなんとか早めに作業を終えることができました。後片付けに取りかかります。

17:30 退庁  
終業時刻は17:15です。今日は定時に仕事を終えることができました。

# 若手職員の声

# Voice of young staff

東北管区警察局 宮城県情報通信部 通信庶務課 係員  
平成28年入庁 無線従事者

## －警察庁を志望した動機－

「技術で組織を支える仕事がしたい」と思ったのが一番の理由です。前職でアナウンサーをしており、大規模災害や事故等を報道する際に過酷な現場で活動する警察官の姿を多く目にしました。東日本大震災後、第一線での警察活動に欠かせない警察通信とそれを支えている情報通信部の存在を知り、無線の資格や前職での経験を活かし組織を支える仕事がしたいと考え、志望しました。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

私は理系学部出身ではなく、技術的専門知識を必要とする仕事の経験もなかったため、初めて触れる業務内容に不安もありました。研修では、できるだけ多くの現場を経験し、知識・技術の幅を広げるよう努めています。また、経験を次に活かすため、作業手順や捜査方法をまとめるなど、1人でも対応できるように心がけています。

## －職場の雰囲気－

業務の厳しさはあるものの、普段は和やかな雰囲気です。上司や先輩職員からの技術指導のほか、業務に必要な知識を得られる研修や訓練もあり、自身のスキルアップを目指せます。経験豊富な上司や先輩職員が多いので、仕事のほかに私生活についての相談もしやすく、学ぶ機会に恵まれた環境です。同期とは教養内容について情報共有し、助け合いながら互いの技術力向上に努めています。

## －皆さんへのメッセージ－

入庁後、私は県警察学校及び情報通信学校で、あわせて100人ほどの同期と出会いました。日本全国に、切磋琢磨し助け合える存在がいることの心強さを実感しています。困っていると必ず誰かが助けてくれ、支えてくれます。自身の技能を高められる環境であること、そして日々の業務が国民の安全・安心につながっているという点で非常にやりがいを感じられる職場です。

東京都警察情報通信部 機動通信第一課 係員  
平成27年入庁 一般職（大卒：電気・電子・情報）

## －警察庁を志望した動機－

人の役に立ち、大学で学んだことを活かせる仕事がしたいと思っていたこと、そして偶然にも警察官と関わる機会があり、警察という組織に興味を持ったことがきっかけです。もし事件・事故が起こった時に、警察官が使用する無線機が使えなかったら、110番通報が出来なかったら、警察活動に多大な影響が出てしまいます。そのような事態に陥らないようにするのが情報通信部の役割と知り、自分もその一員となって国民の安全・安心に貢献したいと、警察庁を志望しました。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

学生時代の専攻が異なり、無線や電話に関して分からないこともあるため、大きなミス等が起きないように上司や先輩の指導を受けながらも、積極的に業務に携わり、多くの経験を積むようにしています。また、知識と技術を高めるため、対応したことについて、自分でノートにまとめて理解するようにし、次に同じことをやる場合に1人で出来るようにする、という目標を掲げて日々取り組んでいます。

## －職場の雰囲気－

情報通信部の職員は警察官のような体力がなくても心配りません。また、堅い職というイメージもあるかとは思いますが、実際にはそのようなことはなく和気あいあとした、フレンドリーな職場です。業務を行ううえで、分からないことや技術面でアドバイスを欲しいと思った時には、上司や先輩が優しく指導してくれるため、積極的にコミュニケーションを取ることができ、非常に働きやすい環境であると感じています。

## －皆さんへのメッセージ－

一般職技術系の仕事って？無線や電話について勉強したことがないけどどうしていいの？入庁前は、私もそう思っていました。しかし、入庁してみると充実した研修制度があり、上司や先輩が丁寧に指導して下さり、心配は無用でした。皆がゼロからのスタートです。大事なことは仕事にやりがいを見つけること、そして仕事に対するやる気です。やりがいがある仕事、国民の安全・安心に貢献する仕事がしたいという方、ぜひ私たちと一緒に働きませんか。

中部管区警察局 石川県情報通信部 機動通信課 係員  
平成27年入庁 一般職（大卒：土木）

## －警察庁を志望した動機－

私は就職活動をする中で、国民のために働き貢献したいと考え、公務員になりたいと思っていました。警察の情報通信部のことを知りました。以前から警察という仕事に憧れがあったことから、私もその一員になりたいと思い、情報通信部を志望しました。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

機動通信課が保守している通信機器は、警察活動を行ううえで必須不可欠です。定期的に点検は行っていますが、万が一障害が発生した際には、迅速に対応し、復旧させなければなりません。そのため、日頃から積極的に知識と技術の向上に努めています。

## －職場の雰囲気－

警察という堅いイメージを持つ人が多いと思いますが、私のいる職場は気さくで優しい上司や先輩方が非常に多いと感じています。また、重大な事案が発生した際には、情報通信部全体で協力して対応することも多いです。そのため、各課・係間の連携も密であり、仕事しやすい環境が整っています。

## －皆さんへのメッセージ－

一般職技術系の業務には専門的な知識が求められるため、不安に思うかもしれませんが、入庁後の学校での研修や職場での各種研修により、業務に必要な知識は十分身に付けることができます。様々な知識を身に付け、技術の面から国民の安全・安心をともに守りましょう。

近畿管区警察局 滋賀県情報通信部 機動通信課 係員  
平成27年入庁 一般職（大卒：機械）

## －警察庁を志望した動機－

多くの仕事の中でも、「国民の安全で安心な暮らしを守る」という使命感と誇りを持って働ける仕事であることと、一般職技術系は、高い技術力で第一線警察活動を支援していると感じ、これまでに習得した知識をさらに高め、社会に貢献できると思い警察庁を選びました。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

日々の業務の中で、機器に障害が発生した際の対応に加え、災害・事件・事故等発生時に出勤し、現場において通信の確保を行う機動警察通信隊活動は、素早い対応能力とある程度の体力も必要だと実感しています。そのため、率先して様々な機器に触れるなど、対応能力の向上を意識して、日々の業務を行うように心がけています。また、日頃から自己研鑽・体力錬成にも努めています。

## －職場の雰囲気－

警察組織ということで厳しいイメージがあるかもしれませんが、穏やかで面倒見の良い先輩が多く、分からないことがあればすぐに相談できる環境が整っており、仕事のことだけでなく、プライベートなことでも相談に乗ってもらっています。

## －皆さんへのメッセージ－

一般職技術系の仕事は、警察情報通信システムの整備や保守管理、携帯電話やパソコンの解析など多種多様であり、それぞれの専門分野で自らの技術力を存分に発揮することができます。あなたがやりがいを感じることができる仕事もきっと見つかるはずです。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

中国管区警察局 山口県情報通信部 通信庶務課 係員  
平成28年入庁 一般職（大卒：電気・電子・情報）

## －警察庁を志望した動機－

国民の安全・安心を支えたいと考えたからです。幼い頃から警察活動に強く興味を抱いていたうえ、学生時代の自分の専攻を活かしたいと考えていたため、就職先としては警察庁の一般職技術系一択でした。実際に働いてみて、自分の仕事が警察活動を支えていると実感することが多々あり、やりがいを感じています。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

システムや機器に障害が発生した際の対応に苦勞しています。警察活動に支障を来さないよう、早急で適切な対応を取らなければならないからです。また、毎日行う機器やシステムの点検では、小さな異変も見落とさないように注意を持って行うことを心がけています。これが障害の予兆に気付く第一歩だと考えています。

## －職場の雰囲気－

職場は和やかな雰囲気です。相談しやすい上司や同期に囲まれ、充実した日々を送っています。事案が発生した際は引き締まり、一丸となって取り組んでいます。また、男社会のイメージが強い警察組織ですが、年々女性職員も増えてきています。

## －皆さんへのメッセージ－

入庁後、東京で全国の同期と共に研修を受ける機会があります。業務に必要なことを一から習得できるうえ、今後の職員人生の中で支えとなってくれる同期との交流を深めることができます。仕事をこなしていけるか不安に思うかもしれませんが、このような研修制度が整えられているため、徐々に解消されていくはずです。職場の上司も支えとなってくれます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

九州管区警察局 宮崎県情報通信部 通信庶務課 係員  
平成28年入庁 一般職（大卒：電気・電子・情報）

## －警察庁を志望した動機－

幼い頃から社会貢献がしたいと考えていて、大学で学んだ電気電子情報の知識を活かせる仕事はないかと探していたところ、警察庁の一般職技術系に出会いました。あまり知られた職業ではないですが、警察活動を支えることは国民の安全・安心な生活を支えることにもつながるため、非常にやりがいのある仕事だと思い、この職業を選びました。

## －業務について苦勞していること、心がけていること－

業務内容が幅広いので、覚えなければならないことが多く苦勞しています。そのため、できるだけ実際の機器を見学したり、操作したりと工夫して覚えるようにしています。また、分からないことや疑問に思ったことがあれば、積極的に質問していくことを心がけています。

## －職場の雰囲気－

とても温かくアットホームな雰囲気です。先輩方も心配りが細やかで、分からないことがあっても丁寧に教えてくれるので、楽しく仕事をすることができています。また、風通しの良い職場づくりに力を入れており、非常に働きやすい職場だと感じています。

## －皆さんへのメッセージ－

一般職技術系は、警察官のように表に出て活躍するような華々しい職場ではありません。しかし、警察活動を支えるという重要な役割を担っており、非常にやりがいのある仕事です。自分の能力を活かしてやりがいのある仕事がしたいという方は、ぜひ一般職技術系を目指してみてください。一緒に働ける日を楽しみにしています。

平成29年度春入庁予定者の声  
警察庁技官を選んだ理由は？

理系の知識を活かして、日々の生活の安全・安心に貢献できると考えたから

技術職として警察活動に携われることに魅力を感じた

無線の資格を活かしたいと思ったから

もともと通信関係の仕事に興味があり、警察組織にそのような業務があることを知り、やりがいがあると思ったから

サイバー犯罪の取締りや情報技術解析業務に興味があったから

情報通信技術を災害等の現場で発揮したいと考えたから

地域の安全に貢献できる仕事に就きたかった

最先端の情報通信技術に興味を持ったから

教育機関等、組織がしっかりしていると感じたから

先輩や親族にすすめられた

# キャリアパス Career Path

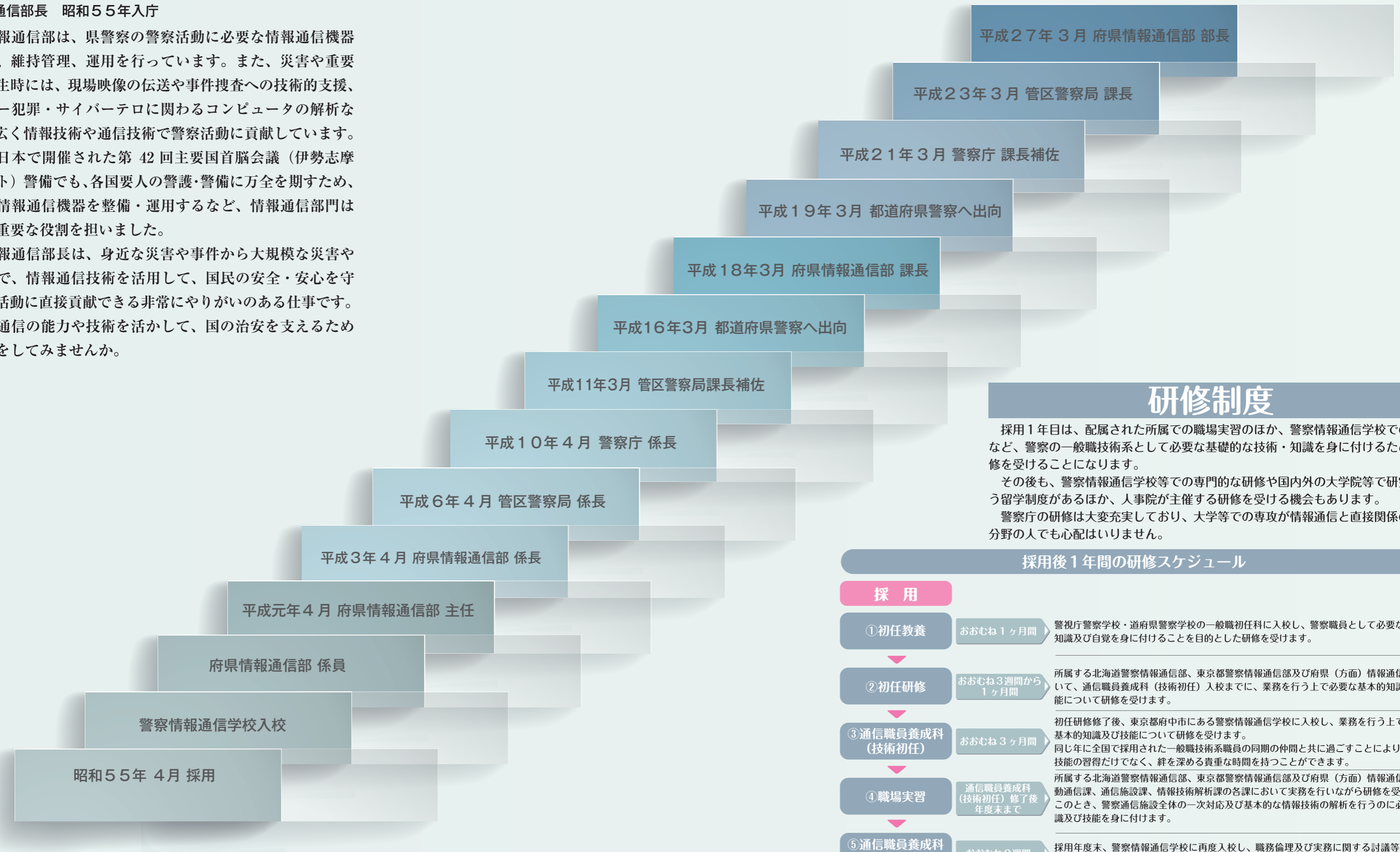
県情報通信部長 昭和55年入庁

県情報通信部は、県警察の警察活動に必要な情報通信機器の整備、維持管理、運用を行っています。また、災害や重要事件発生時には、現場映像の伝送や事件捜査への技術的支援、サイバー犯罪・サイバーテロに関わるコンピュータの解析など、幅広く情報技術や通信技術で警察活動に貢献しています。

昨年日本で開催された第42回主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）警備でも、各国要人の警護・警備に万全を期すため、多様な情報通信機器を整備・運用するなど、情報通信部門は非常に重要な役割を担いました。

県情報通信部長は、身近な災害や事件から大規模な災害や警備まで、情報通信技術を活用して、国民の安全・安心を守る警察活動に直接貢献できる非常にやりがいのある仕事です。

情報通信の能力や技術を活かして、国の治安を支えるために仕事をしてみませんか。



## 研修制度

採用1年目は、配属された所属での職場実習のほか、警察情報通信学校での研修など、警察の一般職技術系として必要な基礎的な技術・知識を身に付けるための研修を受けることになります。

その後も、警察情報通信学校等での専門的な研修や国内外の大学院等で研究を行う留学制度があるほか、人事院が主催する研修を受ける機会もあります。

警察庁の研修は大変充実しており、大学等での専攻が情報通信と直接関係のない分野の人でも心配はいりません。

### 採用後1年間の研修スケジュール

#### 採用

##### ①初任教養

おおむね1ヶ月間

警視庁警察学校・道府県警察学校の一般職初任科に入校し、警察職員として必要な基本的知識及び自覚を身に付けることを目的とした研修を受けます。

##### ②初任研修

おおむね3週間から1ヶ月間

所属する北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び府県（方面）情報通信部において、通信職員養成科（技術初任）入校までに、業務を行う上で必要な基本的知識及び技能について研修を受けます。

##### ③通信職員養成科（技術初任）

おおむね3ヶ月間

初任研修修了後、東京都府中市にある警察情報通信学校に入校し、業務を行う上で必要な基本的知識及び技能について研修を受けます。同じ年に全国で採用された一般職技術系職員の同期の仲間と共に過ごすことにより、知識・技能の習得だけでなく、絆を深める貴重な時間を持つことができます。

##### ④職場実習

通信職員養成科（技術初任）修了後年度末まで

所属する北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び府県（方面）情報通信部の機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の各課において実務を行いながら研修を受けます。このとき、警察通信施設全体の一次対応及び基本的な情報技術の解析を行うのに必要な知識及び技能を身に付けます。

##### ⑤通信職員養成科（技術補習）

おおむね2週間

採用年度末、警察情報通信学校に再度入校し、職務倫理及び実務に関する討議等を行い、採用時の研修の総仕上げを行います。

北海道警察情報通信部  
旭川方面情報通信部 通信施設課 係長  
平成8年入庁

—現在の業務内容—

主に警察通信設備の整備計画及び整備工事を担当しています。警察活動に欠かすことができない通信施設の整備計画に必要な予算要求資料の作成を行い、また、整備計画が認められると、その整備に必要な工事の仕様書及び図面の作成及び価格の積算を行っています。さらに、工事監督職員として、計画通り適性かつ円滑に工事の施行が行われているかを確認します。

—業務をする上で心がけていること—

業務が忙しくなるとミスが起きやすくなるため、計画的に仕事を行い、余裕がある時は前倒しをして業務を進めるよう心がけています。早く帰宅して家族と一緒に時間を過ごすことが活力になっています。家族のことも気軽に話せて、子どもが病気の時は、同僚の理解もあり、休暇を取って、病院に連れて行くこともできました。

—ワークライフバランスに関する経験—

子どもが生まれる時は、予定日より早かったのですが、休暇を活用して出産に立ち会うことができました。

最近、職場と子どもが通う保育園が近隣なので自転車で送っています。また、子どもの夏休み期間に合わせて休暇を取得し、趣味のキャンプや温泉旅行、野球観戦などを楽しんでいます。

—皆さんへのメッセージ—

苦勞して完成させた通信施設が、警察活動で活躍していることを知る機会も多々有り、その時は自分の仕事に充実感を感じ、次もより良いものを整備しようというやる気が出ます。専門性が高い職場ですが、上司や先輩が協力してくれます。

皆さんもこの職場で、一緒に充実感を味わってみませんか。

関東管区警察局  
静岡県情報通信部 機動通信課 係員  
平成22年入庁

—現在の業務内容—

機動通信課の庶務に関する業務を担当しています。具体的には、各種事務の連絡調整、文書管理、物品の購入・修繕・管理や保守業務の窓口などを行っています。

—業務をする上で心がけていること—

勤務時間内に仕事を終了できるよう、段取りを決めて効率的に取り組んでいます。また、私は育児休業明けで、3年間のブランクがあり、仕事で忘れてしまっていることや変更になっていることもあるため、必ず上司・同僚に確認して間違いのないように心がけています。

—ワークライフバランスに関する経験—

私には8歳になる長男と3歳になる二男がいます。長男の出産当時は民間企業に就職しており、育児休業の取得や職場復帰が困難でした。

現在の仕事に転職してから二男を出産しました。現在の職場は育児に対してとても理解があり、二男が3歳になるまで育児休業を取得し、この間育児に専念することができました。

職場復帰時は、3年間のブランクがあり、とても不安な気持ちでしたが、上司の理解が大きく、同僚等のサポートもあり、今は全く不安なく仕事に取り組んでいます。

また、現在、早出遅出勤制度を利用して30分遅く出勤しています。朝ゆとりを持って子どもを幼稚園等に送り出してから出勤することができ、ワークライフバランスの充実に役立っています。

—皆さんへのメッセージ—

私は民間企業を退職後、育児をしながら公務員試験に合格、一般職技術系になることができました。

この職場は、子どもの行事などがあれば勤務時間や休暇を調整していただけるなど、とても理解のある職場であり、仕事と育児を両立し、安心して仕事を続けることができます。

ぜひとも、挑戦してみてください。

四国管区警察局  
徳島県情報通信部 機動通信課 主任  
平成18年入庁

—現在の業務内容—

本部交換機、通信指令システム、基幹 IP 網、データ通信システム等の保守を行っています。依頼があれば庁舎内の電話等の配線作業をしています。扱っているシステムは重要なものが多いので、機器に異常がないか毎日目を光らせています。いつ障害が起こっても即時に対応できるように機器の動作状態の把握を心がけています。

—業務をする上で心がけていること—

現在、育児短時間勤務をしています。通常より勤務時間が短いことから、仕事に優先度をつけて、効率よく、計画的に行うようにしています。また、子どもが病気になる急に仕事を休むことも考えられるので、期限が決められている業務は早めに終わらせるようにしています。

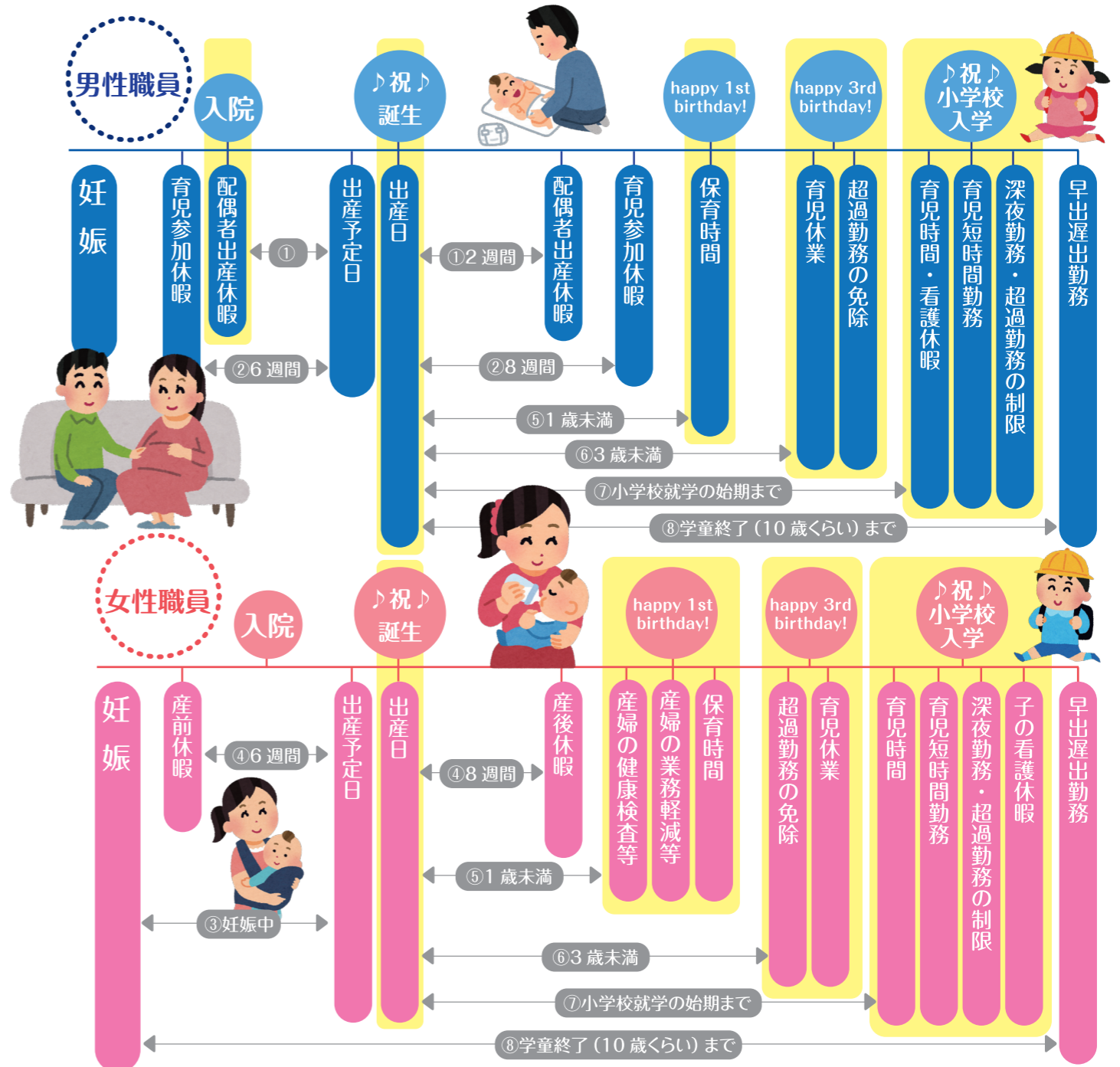
—ワークライフバランスに関する経験—

職場復帰後から育児短時間勤務を利用しています。小さい子どもがいるとどうしても朝は準備で大忙しですし、夕方は子どもを病院に連れて行くこともできるので、とても助かっています。また、上司の理解と協力もあり、平日に行われる保育園の行事にも参加することができました。今後も、子の看護休暇等、他の制度もうまく利用しながら仕事と育児を両立していくつもりです。

—皆さんへのメッセージ—

私は2年間、育児休業しました。その2年間は、子どもの成長を密に感じることができ、とても有意義な期間でした。復帰後も福利厚生がしっかりしているので、無理なく仕事と育児の両立ができています。ライフスタイルが変わっても働きやすい職場です。どんな仕事をしたかに加えて、将来結婚し、子どもができた後のことも考えて決めることも大事なことだと思います。ぜひ私たちと一緒に働きましょう。

## 仕事と家庭生活の主な両立支援制度

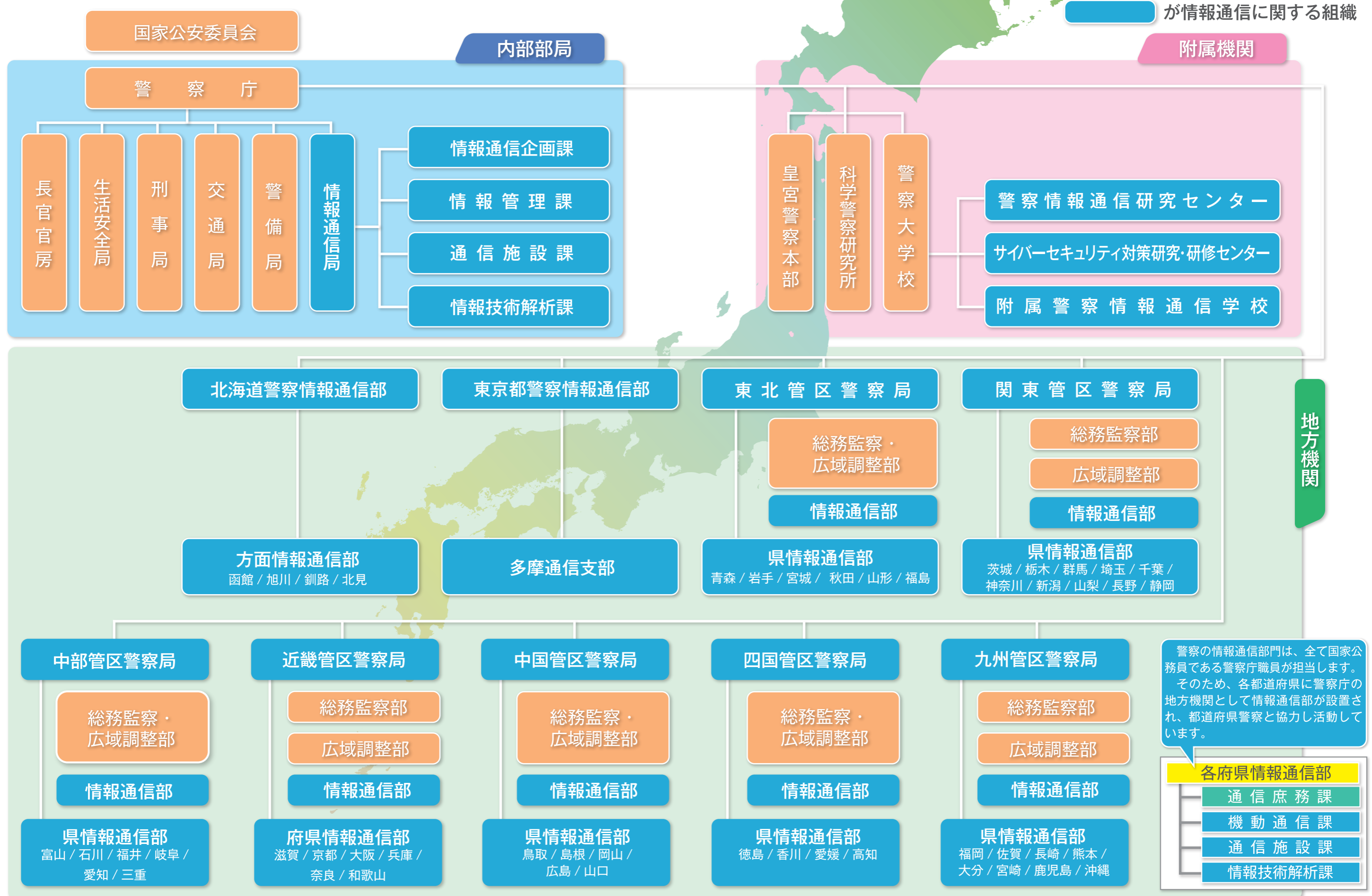


No.	項目	対象		規定
		男	女	
①	配偶者出産休暇	○	○	入院の日から出産の日後2週間 (2日の範囲内)
②	男性職員の育児参加休暇	○	○	産前6週間 (多胎妊娠は14週間)、産後8週間までの期間 (5日の範囲内)
		○	○	
③	妊婦の通勤緩和	○	○	妊娠中
	妊婦の休息・補食	○	○	
	妊婦の早出遅出勤	○	○	
	妊婦の健康診査・保健指導	○	○	
④	産前・産後休暇	○	○	産前6週間 (多胎妊娠は14週間)、産後8週間までの期間
	産婦の健康診査・保健指導	○	○	
⑤	産婦の業務軽減等	○	○	子が1歳に達するまでの期間
	産婦の健康診査・保健指導	○	○	

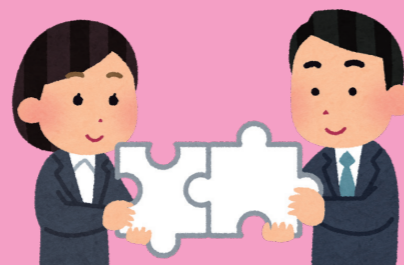
No.	項目	対象		規定
		男	女	
⑤	保育時間	○	○	子が1歳に達するまでの期間
⑥	育児休業	○	○	子が3歳に達するまでの期間
		○	○	
⑦	深夜勤務・超過勤務制限	○	○	小学校就学の始期に達するまでの期間
		○	○	
		○	○	
		○	○	
⑧	早出・遅出勤	○	○	小学校就学の始期に達するまでの間及び小学校に就学している子が放課後児童クラブ等に通う間
		○	○	

育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制度等、ワークライフバランスを推進する制度があります。

# 警察機構図 Police organization chart



# Q&A



## Q.1 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）のどの試験区分から採用するのですか？

**A** 採用する管区警察局により若干異なりますが、その多くは、電気・電子・情報、物理、機械の区分から採用を行っています。建築、土木の区分からの採用実績もありますので、まずは各管区警察局の採用窓口にお問い合わせください。

## Q.2 一般職技術系職員の採用は、管区警察局のみで行われるのですか？

**A** 一般職技術系の採用は、各管区警察局、北海道警察情報通信部及び東京都警察情報通信部において行っています。どこの管区警察局に連絡していいかわからないという方は、警察庁の担当へご連絡いただいても構いません。

## Q.3 国家公務員試験合格者しか採用されないのですか？

**A** 第一級陸上無線技術士の資格を保有する方の中から、選考により採用しています。

## Q.4 採用実績を教えてください。

採用年度	試験区分				無線資格 (一陸技)	計
	電気 電子情報	物理	機械	土木		
平成 25 年度	30	0	1	0	13	44
平成 26 年度	27	11	9	1	17	65
平成 27 年度	45	15	5	5	20	90
平成 28 年度	39	9	11	1	25	85
平成 29 年度	33	11	9	4	23	80

(※H29年度は、平成29年2月1日時点の内定者数を表す。)

## Q.5 担当する業務は、情報通信部門に限られるのですか？

**A** 基本的には情報通信部門に配属されますが、様々な分野において情報通信に関する知識や技術が求められており、生活安全、刑事、交通、警備といった他の分野や他省庁等での勤務など、様々な業務の経験を積むチャンスもあります。

## Q.6 総合職技術系と一般職技術系の業務内容の違いについて教えてください。

**A** 総合職技術系は、技術に関する専門的な知見を活かし、主に政策の企画・立案等に携わります。一方、一般職技術系は、主に地方機関において情報通信システムの整備・運用業務や捜査の技術的な支援を行うなど、専門的な知識や技術を幅広く応用し、第一線の警察活動を支える業務に従事します。

## Q.7 一般職技術系には警察官のような体力が必要ですか？

**A** 一般職技術系は技術力で警察活動を支えています。体力にあまり自信がない方、運動が苦手な方でも大丈夫です。

## Q.8 休暇について教えてください。

**A** いわゆる有給休暇は、4月採用者については採用された年に15日間取得することができます。翌年からは、20日間の休暇が付与され、前年に使用せずに繰り越した分を含めて、最大40日間の休暇を取得することができます。このほか、夏季休暇、結婚に伴う休暇、忌引休暇などの特別休暇などもあります。

## Q.9 異動の周期はどのくらいですか？

**A** 概ね3～5年程度の周期です。転居を伴うこともあれば、伴わない異動もあり、周期も含めて、状況により様々です。

## Q.10 異動について自分の希望は反映されますか？

**A** 異動については、定期的に希望調査を実施します。異動は個人の能力向上と組織の活性化を図るためにも必要なことであり、入庁後一度も異動を経験しない職員はいません。多くの職員が対象となるため、必ずしも本人の希望通りになるとは限りませんが、希望調査で本人の希望や配慮すべき事項を確認するとともに、適性や能力等も十分考慮して決定されます。

## Q.11 警察庁内部部局で勤務することはできますか？

**A** 異動場所は、基本的に採用された管区内ですが、本人の希望や適性等によっては、警察庁内部部局での勤務や警察情報通信研究センターなどの附属機関での勤務も可能です。

## 各管区警察局採用窓口



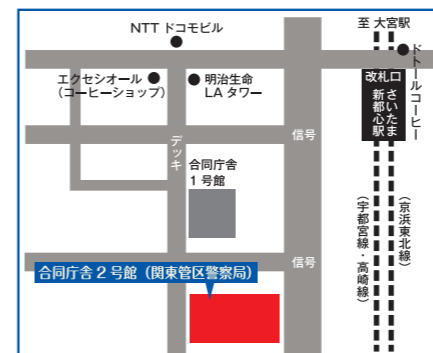
**北海道警察情報通信部 通信庶務課**  
〒060-8520  
北海道札幌市中央区北2条西7丁目  
TEL: 011-251-0110 (内線 6032)



**東北管区警察局情報通信部 通信庶務課**  
〒980-8408  
宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号  
TEL: 022-221-7181 (内線 6032)



**東京都警察情報通信部 通信庶務課**  
〒100-8929  
東京都千代田区霞が関二丁目1番1号  
TEL: 03-3581-4321 (内線 60311)



**関東管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒330-9726  
埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1  
TEL: 048-600-6000 (内線 6032)



**中部管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒460-0001  
愛知県名古屋市中区三の丸二丁目1番1号  
TEL: 052-951-6000 (内線 6032)



**近畿管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒540-0012  
大阪府大阪市中央区谷町二丁目1番17号  
TEL: 06-6944-1234 (内線 6032)



**中国管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒730-0012  
広島県広島市中区上八丁堀6番30号  
TEL: 082-228-6411 (内線 6032)



**四国管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒760-0008  
香川県高松市中野町19番7号  
TEL: 087-833-2111 (内線 6032)



**九州管区警察局 情報通信部 通信庶務課**  
〒812-8573  
福岡県福岡市博多区東公園7番7号  
TEL: 092-622-5000 (内線 6032)

## 採用に関するお問い合わせ

### 警察庁情報通信局情報通信企画課

〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号 TEL 03-3581-0141 (内線 6032)

警察庁ホームページにも採用情報を掲載しています！

警察庁 HP 採用案内 <http://www.npa.go.jp/saiyou/index.htm>

警察庁 一般職技術系

本パンフに掲載の所属・役職等については、平成29年2月1日現在のものです。